第6回留学生日本語スピーチコンテスト

初級・中級部門と中級後半～上級部門の2部門で開催

6月25日、言語教育研究センター主催「第6回上智大学留学生日本語スピーチコンテスト」が開催された。本学で日本語を受講中の留学生が学修成果を公の場で発表する機会として、初級・中級部門と中級後半～上級部門の2部門で行われた。

初級・中級部門の優勝者　チュウ　レイボン　カリストさん

中級後半～上級部門の優勝者　ジョン　ユナさん

当日は、一次審査を通過した各部門5人の学生が登壇。審査は、言語教育研究センター副センター長の小柳かおる教授や、公益財団法人日本英語検定協会会長の吉田研作本学名誉教授ら5人によって、内容・構成・言語の明瞭さ・話し方などを考慮して行われ、優勝、準優勝、審査員特別賞の入賞者が決まった。

初級・中級部門の優勝者は、チュウ　レイボン　カリストさん（オーストラリア出身・国教・交換留学生）で、スピーチのタイトルは「日本の魅力」。日本人との「一期一会」の出会いを通じて発見した日本の魅力について、身振り手振りを交えた高いパフォーマンス力でスピーチを披露し会場を盛り上げた。

中級後半～上級部門の優勝者はジョン　ユナさん（大韓民国出身・文史・交換留学生）で、スピーチのタイトルは「こだわりからの癒し」。鎌倉に旅行したときに感じた「日本のこだわり」から、「こだわる」ことの大切さに気付いたジョンさんは、自身の人生もこれまでのように焦ることなく、自信と「こだわり」を持って歩んでいきたいと豊かな表現力でスピーチをした。

閉会式では審査員を務めた吉田名誉教授から、「どれもよく練られた内容で一貫性のあるスピーチであった」との講評があった。

準優勝、審査員特別賞は次のとおり。

■準優勝　初級・中級部門　ハギワラ　エンジェルローズ　ロホさん（フィリピン共和国出身・国教1）、中級後半～上級部門　リ　ワンティンさん（台湾出身・文新・交換留学生）

■審査員特別賞　初級・中級部門　ヘビグ　サンディさん（ドイツ連邦共和国出身・外独・交換留学生）、中級後半～上級部門　シン　テンエイさん（中華人民共和国出身・理情1）

なお、当日の司会はチン　ショウさん（外英3）が務め、スピーチの練習には課外活動団体「Lingwave」の在学生たちが協力した。

コンテスト出場留学生と健闘をたたえる審査員

キャンパスのサステナビリティを考える

学生・教職員の垣根を越え約80人が参加

6月23日、サステナビリティ推進本部は、学生課外活動団体　KASA Sustainabilityとの共催で「Sustainable Campus Forum」を9号館アクティブ・コモンズで開催した。本フォーラムは、四谷キャンパスのサステナビリティについて学生・教職員の垣根を越え、共に考えるオープンな場を創出することを意図した企画だ。初の対面開催となった今回は約80人が参加した。

多数の留学生が参加

ゲストスピーカーを囲んで

4回目となる今回のテーマは「大学は農場になれるのか？」。国際教養学部国際教養学科の伊藤毅教授がモデレーターを務め、サステナビリティに向き合う2人をゲストに迎えた。1人は卒業生の国吉純氏（85年文教卒）。株式会社ジュリエッタ・ガーデン代表取締役で、園芸の楽しさをあらゆる世代に広めている。もう1人は在学生の小林宙さん（文哲2）。日本の伝統野菜を途絶えさせないために鶴頸種苗流通プロモーションを起業し、タネを流通・販売している。

参加者は2人から話を聞き、グループに分かれて議論を展開した。多様な作物、植物の共生を支える農場と、教育機関である大学のあり方を照らし合わせた興味深い意見交換がなされた。

また、学内でサステナビリティへの関心を高めていくために、実践的なガーデニングや農業体験の授業の開講、ファーマーズマーケットの開催などアイデアが出された。

サステナビリティ推進本部学生職員の竹内綾さん（総社4）は、「講演を通じて、これまで接点のなかった農業の奥深さに触れることができ、とても実りある時間となりました。今回の学びから

キャリアセンター主催

夏以降のキャリア支援シリーズ

4年生から低学年まで幅広く支援

キャリアセンターでは、6月より、24卒生向け就職支援の強化を図っている。企業の採用活動が早まり、これから内定が得られるのか不安に思う学生は少なくないが、キャリアセンターには、例年、夏以降も多くの求人が寄せられ、そこから内定を獲得する学生もいる。上智生に対する採用意欲が高く、本学を限定して求人を提供する企業もある。求人をはじめ、24卒生向けの情報は「WEBキャリアセンター（※Loyolaからアクセス）」→「24卒向け情報掲示板」にまとめている。24卒生向けに6月から7月に開催したセミナーの一部は、アーカイブ動画も公開中。ぜひ積極的に活用してほしい。

インターンシップへの参加などこれから就職活動を開始する25卒生向けには、6月29日に「危機管理ガイダンス」を実施した。ガイダンスではブラックインターンシップや就活時におけるハラスメント、トラブルの事例を紹介。その対処法や法的根拠について解説した。どんな些細なことでも、疑問に思うことがあれば、キャリアセンターに相談してほしい。

就職活動中の学生だけでなく、これから情報収集を始める低学年次を対象として、9月20日、21日の両日、学内でOBOG交流会を実施する。参加企業は各業界のリーディングカンパニーを中心とした約50社。コロナ禍以降、初めての対面形式の大規模な交流会となる。キャリアセンター担当者は、「会社説明会や企業のホームページだけではわからないリアルな卒業生の働き方を知る機会にしてほしい。1、2年生の参加も歓迎する」と話している。

キャリアセンターガイダンス一覧

開催日	開始時刻	終了時刻	名称	開催場所
8月7日	10：00	14：00	外国人留学生の国内就職支援研修（就職活動準備コース）1日目	2-402
8月8日	10：00	14：00	外国人留学生の国内就職支援研修（就職活動準備コース）2日目	2-402
8月24日	10：00	18：30	（学部1,2年生限定）【3大学共同開催】WEB仕事理解プログラム Aコース（1日目）	オンライン（Zoom）
8月25日	10：00	18：30	（学部1,2年生限定）【3大学共同開催】WEB仕事理解プログラム Aコース（2日目）	オンライン（Zoom）
8月28日	10：00	18：30	（学部1,2年生限定）【3大学共同開催】WEB仕事理解プログラム Bコース（1日目）	オンライン（Zoom）
8月29日	10：00	18：30	（学部1,2年生限定）【3大学共同開催】WEB仕事理解プログラム Bコース（2日目）	オンライン（Zoom）
9月20日	10：30	12：50	9月　OBOG訪問会（対面）（1日目・午前の部）	2号館17階
9月20日	14：30	16：50	9月　OBOG訪問会（対面）（1日目・午後の部）	2号館17階
9月21日	10：30	12：50	9月　OBOG訪問会（対面）（2日目・午前の部）	2号館17階
9月21日	14：30	16：50	9月　OBOG訪問会（対面）（2日目・午後の部）	2号館17階
9月22日	15：00	16：00	Career Guidance in English	オンライン（Zoom）
10月2日	17：20	19：00	＜25卒生主対象＞総合就職ガイダンス④-1日目：活動の第1歩を踏み出す（※仮タイトル）	6-301＋Zoom Live配信
10月5日	17：20	19：00	＜25卒生主対象＞総合就職ガイダンス④-2日目：本選考に向けてレベルアップを図る（※仮タイトル）	6-301＋Zoom Live配信

※日時や実施形態は変更する場合があります。最新情報・詳細はWEBキャリアセンターのガイダンス情報をご確認ください。
（「Loyola＞就職・キャリア支援＞webキャリアセンターはこちらから→ガイダンス情報」より）

The Knot－知の結節点

教員が自身の研究について語るWeb連載始まる

日英公式サイトにて随時公開

昨年末にリニューアルした上智大学公式ウエブサイトでは、高校生など本学との関わりが比較的浅い学外者を対象に、本学での学びや研究、そして学生生活など、入学後の成長の過程を示すことを目的とした複数の特集企画をFeaturesとして展開している。

その中の一つ「The Knot―知の結節点」は、本学にとっての叡智の源であり、世界とつながる『結び目（knot）』である教員たちの研究に迫る企画だ。専任教員一人ひとりの研究について、本人へのインタビューを通じて日本語と英語でわかりやすく発信している。昨年度は、約170人の教員へのインタビューを行い、その記事は随時公開されている（本記事文末のQRコードからアクセス可）。

思い入れのある書籍「この一冊」を紹介するコラムにも注目

また、「この一冊」と題したコラムでは、それぞれの教員が思い入れのある一冊を紹介。専門に関わる書籍から、幼少期の思い出の一冊、若者にすすめたい一冊など、書籍にまつわるバラエティに富んだエピソードを読むことができる。

広報グループの担当者は「大学案内や研究者向けサイトだけでは伝えきれない研究の魅力を発信するために企画した。大学での具体的な学びについて、それぞれのインタビューを通じてイメージできるよう編集している。多彩な研究テーマはもちろん、研究の背後にある教員たちの熱い思いを感じてほしい」と話している。

中野記偉名誉教授逝去

3月14日、死去。94歳。1928年生まれ。59年上智大学大学院西洋文化研究科修士課程修了。60年本学文学部英文学科講師、65年同助教授、72年同教授、93年同特遇教授、97年特別契約教授。98年から本学名誉教授。

著書に『聖トマス・アクィナス』翻訳（中央出版社）、『イグナチオとイエズス会』翻訳（講談社）、『じてん・英米のキャラクター』共著（研究社）など。専門はイギリス・ロマン派文学。